



平成 23 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 朝日工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 赤松 清茂
(コード番号 5456)
問合せ先
役職・氏名 常務取締役管理本部長
中村 紀之
電話 03-3987-2161

平成 24 年 3 月期第 2 四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 24 年 3 月期 第 2 四半期累計期間（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）の業績予想と本日公表の実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、通期（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）業績予想を修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値と実績との差異（平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想(A)	21,500	150	100	30	円 銭 428.57
今回発表決算値(B)	20,637	△419	△410	△271	△3,879.46
増減額(B-A)	△862	△569	△510	△301	
増減率(%)	△4.0	—	—	—	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四半期)	19,873	△544	△558	△577	△8,244.32

2. 平成 24 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想(A)	46,000	1,600	1,500	800	円 銭 11,428.57
今回修正予想(B)	45,200	900	900	500	7,142.86
増減額(B-A)	△800	△700	△600	△300	
増減率(%)	△1.7	△43.8	△40.0	△37.5	
(ご参考)前期実績 (平成 23 年 3 月期)	40,535	△772	△737	△801	△11,456.62

3. 平成24年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値と実績との差異（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	20,000	200	120	50	円 銭 714.29
今回発表決算値(B)	19,503	△464	△525	△368	△5,268.25
増減額(B-A)	△496	△664	△645	△418	
増減率(%)	△2.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	18,651	△466	△490	△491	△7,015.07

4. 平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	43,000	1,500	1,300	700	円 銭 10,000.00
今回修正予想(B)	42,600	760	600	330	4,714.29
増減額(B-A)	△400	△740	△700	△370	
増減率(%)	△0.9	△49.3	△53.8	△52.9	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	37,919	△769	△809	△846	△12,090.82

5. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間における予想数値と実績との差異

〔鉄鋼建設資材事業〕

製品需要は緩やかな回復基調であったことから、製品販売数量は当初の見込みより微増となりました。製品販売価格の値上げは当初の計画通りには進みませんでした。この結果、前回の予想時に比べて減収となりました。利益面では、製品販売価格の値上げが進まなかったことが影響し、減益となりました。

〔農業資材事業〕

肥料事業では、東日本大震災の影響により、製品販売数量は当初の見込みより微減となり、前回の予想時に比べて減収となりました。利益面では製品販売価格の値上げが寄与し、前回の予想時に比べて増益となりました。農業資材事業全体では、前回の予想時に比べて減収増益となりました。

〔環境ソリューション事業〕

放射能測定を含む環境分析の受注が拡大したことから、前回の予想時に比べて増収増益となりました。

〔砕石砕砂・マテリアルリサイクル事業〕

前回の予想時の売上高・利益で推移しました。

グループの事業全体では、鉄鋼建設資材事業の減益を他事業の収益でカバーするに至らず、前回の予想時に比べて減収減益となりました。

(2) 通期業績予想の修正

鉄鋼建設資材事業の第3および第4四半期では、第2四半期累計期間での減収を取り戻すべく、コストダウン活動などを強力に推進し利益の確保に努めてまいります。第2四半期累計期間での減収幅が大きいことから、通期業績予想を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上